

1 PLAN(目的・概要)

一般事務事業

政策名	交流・環境	28年度事業・施策評価結果			責任者	企画調整室 環境担当課長	
施策名	うるおいと魅力のある港湾空間の形成	成果	コスト				
事務事業名	名古屋港景観基本計画の推進	継続	維持	維持	連絡先	052-654-7819	
					連携課	港営課	
目的	対象(誰・何を)	臨港地区内に進出する官公庁や民間企業の建築物等				事業期間	平成5年度～継続
	意図(どういう状態にしたいか)	名古屋港とその周辺地域の景観形成を、ロマンと活気を基本理念に総合的、計画的に推進し、魅力ある港湾景観の形成を図ります。					
概要	関係行政機関や事業者と連携して、景観アドバイザー制度の活用などにより、各種建築計画等と名古屋港景観基本計画及び名古屋港カラー計画との整合性を図り、魅力ある港湾景観の形成を推進します。				根拠法令等		
29年度の実施予定	企業からの臨港地区内行為届出の事前相談の際に、配布する名古屋港カラー計画マニュアル(第3版)を基に名古屋港景観基本計画および名古屋港カラー計画の説明を行い、景観形成への協力を要請します。また、景観アドバイザー制度を紹介しその活用を促進します。				実施義務	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	
					関連シート		

2 DO(実施)

29年度に実施した内容・結果	名古屋港カラー計画との整合性について、17件の審査を行いました。企業からの臨港地区内行為届出の事前相談については、7件に対応し、景観形成の協力を要請しました。また、景観アドバイザー制度については4件の相談を受けました。					
コスト	単位	27年度	28年度	29年度	平均	備考(費用の増減理由等)
事業費	千円	70	56	42	56	
人件費	千円	1,784	2,688	2,757	2,410	
合計	千円	1,854	2,744	2,799	2,466	

3 CHECK(検証)

指標名		27年度	28年度	29年度	中間目標	30	指標の説明・目標値の考え方	外部要因
景観審査におけるカラー計画との整合性率(%)	目標	100	100	100		100	臨港地区内の申請・届出等からカラー計画マニュアルとの整合性を審査したもののうち、カラー計画マニュアルと整合した率を指標とします。(企業色や既製品を用いる場合は対象外とする。) (適合件数 16件/審査件数 17件×100=94%)	
	実績	86	95	94				
(単年度管理型)	事業進捗状況(29年度)		<input type="radio"/> 目標値を上回る <input checked="" type="radio"/> 目標値をやや下回る <input type="radio"/> 目標値どおり <input type="radio"/> 目標値を下回る					
目標の達成度に対する評価(外部要因等を踏まえた)		臨港地区内の申請・届出等の内、カラー計画マニュアルとの整合率は94%でした。						
必要性・有効性・効率性の検証		評価	評価に関する説明					
必要性	本組合が関与し、どうしてもやらなければならない事業か?	<input type="radio"/>	港内の良好な景観形成を計画的に進捗するために必要です。					
	事業規模や対象範囲は利用者ニーズや社会環境にあっているか?	<input type="radio"/>						
有効性	事務事業は、施策達成に貢献するか?	<input type="radio"/>	全体としては「うるおいと魅力のある港湾空間の形成」に寄与し、景観形成が促進されているため、施策達成に貢献しております。景観審査におけるカラー計画との整合性率は概ね目標値に達しており、魅力ある港湾景観形成の成果は得られています。					
	期待どおりの成果が得られているか?	<input type="radio"/>						
効率性	最小のコストとなっているか?	<input type="radio"/>	事業者からの相談があった時のみ、アドバイザーを活用しており、必要最小限のコストとなっています。					

4 ACTION(取組)

施策評価結果	30年度以降の方向性		判断理由
	成果	コスト	
	継続	維持	名古屋港の良好な景観形成のため、引き続き取り組む必要があるため。
課題		30年度以降の取組	
事業者の建築物においても、計画と整合のとれた景観を形成する必要があります。		事業者に対しても、引き続き計画の趣旨について理解を求め、良好な景観形成を推進していきます。	